

斜面防災 News Letter

— 信頼される斜面防災対策技術協会として — No.18

国土交通省水管理・国土保全局今井砂防部長へ要請しました。

令和3年3月26日(金)10時30分、国土交通省水管理・国土保全局砂防部長室において当協会会長辻裕から今井一之部長に対し事前防災対策予算の確保、協会活動へのご支援・ご協力要請、集水井横ボーリング工の洗浄工などの歩掛見直しに向けた合理化調査の要請等を行いました。今井部長からは各項目に対しご回答を頂き、特に現場実態を適切に反映した斜面对策工事の設計・積算の実施については、今後とも砂防部としても力を入れて対応していきたいとの力強いお言葉を頂きました。要請に当たっては近藤浩一副会長、原裕副会長、杉浦信男専務理事及び綱木亮介技術委員会委員長が同席させていただき、砂防部からは協会機関誌「斜面防災技術」第141号(令和3年4月発刊)の巻頭言にご執筆いただいた伊藤仁志保全課長にも同席いただきました。



左から近藤副会長、辻会長、今井部長、原副会長(国土交通省水管理・国土保全局砂防部長室にて)



斜面防災対策技術への取り組みに関する要望書

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策が盛り込まれた、令和3年度予算がまもなく成立いたします。(一社)斜面防災対策技術協会としても、加速化対策が具体化されるのを機に、以下の活動を実施したいと考えております。その中には砂防行政機関のご支援なくしては成果を期待し難いものもあり、発注者のご支援を要望させていただきます。

1. 事前防災対策予算の確保

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の中で、「いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進「流域治水」に基づいた事前防災対策」の推進を強く要望いたします。

2. ライフサイクルコスト削減検討のための研究会の設置

「予防保全型維持管理への転換に向けた老朽化対策」では、最適な老朽化対策の前提としてライフサイクルコスト削減方法の確立が重要です。協会として地すべり対策におけるライフサイクルコストに係るデータを収集・取り纏めし、縮減方法を提案したいと考えております。

具体的には、斜面対策工(とりわけ集水井、集水ボーリング、のり面工など)の経過年数と健全度のグラフ化などから、ライフサイクルコストが縮減できる、適切な更新時期、更新方法などの検討に令和2年度内から着手し、令和4年末を目標に結論を得たいと考えております。

作業に当たっては、データの収集、分析などには砂防関係行政部局のご協力が必要と考えており、砂防部、土木研究所の方の参加を得て研究会を組織し、情報を共有しつつ作業を進めたいと考えております。特に、過去に観測されているデータの収集には施設管理者たる砂防行政部局のご協力は欠かせないと考えており、是非ともご協力を賜りますよう要望いたします。

3. 「砂防関係事業におけるDXの推進」のための事例集の発刊

インフラDX(デジタルトランスフォーメーション)に関する事例集の作成を予定しております。事例集の作成では、作成後の斜面防災対策分野への普及も含めて砂防関係行政部局の協力が必要と考えます。具体的には直轄事務所、都道府県の砂防行政部局と研究会を作り、令和3年度中の取り纏め、発刊を目指しています。是非ともご協力を賜りますよう要望いたします。

4. 現場実態を適切に反映した斜面防災対策工事の設計・積算の実施

集水井工や集排水ボーリング工の機能回復に必要な孔内洗浄工について現場実態を適切に反映できるよう合理化調査を要望いたします。

令和3年3月26日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会長 辻 裕

